

わたしの家業の拓き方 **ストーリーシート** Cさん

Cさんのプロフィール

職業 事務職 (派遣社員)
性別 男性 年齢 46歳
婚姻 未婚
同居家族 両親

高校卒業後、ずっと派遣社員として働いていたCさん。趣味としてバンド活動の時間を確保するため、日々の暮らしに困らない程度の収入があれば良いと考えていた。派遣社員は雇用期間が定められているため、2〜3年ごとに職場が変わる。しかし、自宅で母の介護をする父の手伝いをしたことを機に、介護士として働きたいと思うようになった。

これまで、介護や医療関係の仕事をした経験はなく、介護に関

連する資格も持っていない。資格を取得することで正社員としての雇用や、昇給などの可能性が広がるのであれば、資格を取得したいが、資格取得には費用がかかることもあり、これからどのように進めていけば良いのか分からず悩んでいる。

職を得るために必要とされるキャリアや、一度社会に出た自分が資格を取得するための、学び直しの方法などについて考えていきたいと思っている。

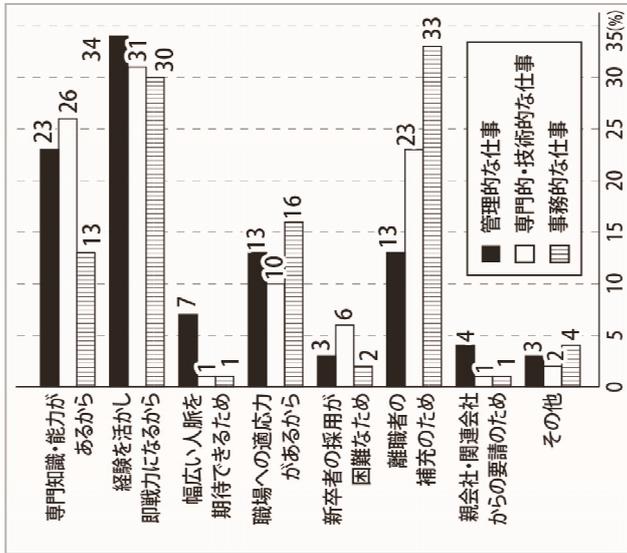


クラス: 番号: 氏名:

●Cさんのライフプランニングのために、課題となりえるのはどのようなことでしょうか。下のグラフや文章も参考にしながら読み取り、ワークシートに書きましょう。

転職と学び直しについて

■ 転職者の採用理由



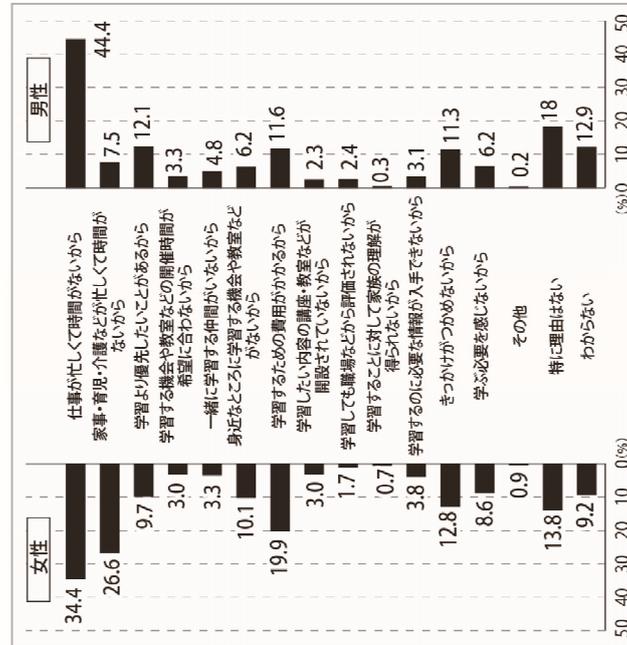
出典:「平成27年 転職者実態調査の概況」(厚生労働省)

社会人の学び直し

社会に出てから職業に必要な能力の向上や学び直しを目的として、学校に通ったり、通信教育などの自宅での学習を考えた人は多く、その中でも多くの場合が仕事を続けながら、学びのための機会や時間を確保する人たちです。

学び直しの目的(資格の取得、専門知識の強化など)によって、かかる時間や費用は様々ですが、目的や学ぶ内容に応じて学費のサポートや就職支援の制度などを活用することもできるため、具体的に調べたり計画したりすることが必要です。

■ 学び直し(資格取得)のハードル



出典:「多様な選択を可能にする学びに関する調査報告書 平成30年度版」(内閣府 男女共同参画局)

■ 学び直し(資格取得)の方法

方法	説明
1 社会人特別選抜	多くの大学で、社会人を対象とする特別選抜制度。
2 編入学	短期大学や高等専門学校を卒業した人で、4年制大学への編入学を受け入れる。
3 夜間部・夜校開講制	学習者の時間的制約に対応するため、多くの大学では夜間の設置や夜校開講制の実施が行われている。
4 科目等履修生	社会人などに適し、パートタイムの学習機会を拡充し、その学習に適切な評価を与えるため、大学における授業科目の一部を履修して単位を修得することができるようになった。
5 聴講生・研究生	聴講生・研究生は、正規の学生や科目等履修生とは異なり、大学の講義を聴講し、自身の学習に役立てることができるが、単位などの取得はできない。
6 通信教育	大学・短期大学の講義や、資格取得のための講座などを映像やテキストを使って遠隔で履修することができる。
7 大学の公開講座	大学における教育・研究の成果を直接社会に開放し、地域住民などに高度な学習機会を提供。講座の内容は、職業人を対象とした専門的・技術的なもの、いわゆる現代的課題に関するもの、語学、スポーツなど、極めて多岐にわたっている。
8 大学入学資格検定制度	高等学校卒業程度認定試験は、様々な理由で、高等学校を卒業できなかった者などの学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験。合格者は大学・短大・専門学校の受験資格が与えられる。

参考:「我が国の文教施策について」(文部科学省)など 令和元年11月25日 Webサイト公開